| 「東に月根木書配生と共に虚成場的行為に出で無氣味なられた、 尚氏中野に別機

海惨劇の

跡を見る

族九名に遺骨、身廻り品とを 機へさせ海岸に引返して我内 火艇に楽つて〇〇艦に收容し た往復共に自動車で支那側は 保護に名を輸つて記者の行動 を束縛し寫眞さへ撮る事を禁 止し凡有る妨害を加ふるのみ

最短期間内に

甘濃居留民團長

に要請

断乎たる措置を

# 日六十二



銃悲しく秋空にこだ

お兄さまにお任せしまずわ…

くもあつた。

玉汝は学捨て鉢でさらいつ

ばかりてもないわ、

はれるさ私が恣歌しますったんでせう、私のためったんでせう、私のためも、みなたはがなり御熱

た言葉が、何んだか馬鹿馬鹿

玉汝はその時のセンチメンタ た態の整常ができるものか! た態の整常ができるものか! て、歌つてじるご見てゐます
て、歌つてじるご見てゐます
なっても、わたしはそのそば
なっても、わたしはそのそば

ですの、内面的には?」

です、いかにあなたのためだっ、質はピクピクしてゐるんです、いかにあなたのためだってす。

『何んでも知つてゐますね。 のでも不気だっていひますか

者の唇の色が紫になつてゐるなんでものは、――不見贓ななんでものは、――不見贓ななんですか、男

2 あ 3 上映 西 伊 之

口助

#### いで外交的に好轉し得る可能 変渉の前途に幾分の希望を緊 変渉の前途に幾分の希望を緊 して日支關係は として日支關係は として日支関係は として日支関係は 許大使に はれた模様で、仄聞するに悪 かに徒らなる選延策を以てす る不誠意傷まる南京政府の奸 る不誠意傷まる南京政府の奸 がなどより見て兩國々交の現 中央に對し重大請訓を仰ぐ 强硬具體案決す 日支關係危局 ものであるとの判断が行はれ 一を前提として在支居留民の 生命財産の保護に當る頗る强 である其體案を決定。直ちに この旨中央に對し軍大門訓が なされた

# 蔣氏この直接交渉要求を通告

高外交部亞細亞司長の

佈告を以て左の敦睦令を佈告

生養友氏(箭貨業)同地ホテル(鐵路局員)同 差以氏(滿洲國官吏) 治氏(大朝記者)同

正信氏(輸出協會員) 原左衛門氏(同)同 正人氏(同)同 原本人氏(同)同

都二夫氏(滿綴社員)

一氏(建築業)同

取られたに違ひない の日ノ

総意探査に努めた結果犯人の した有力な手掛りを設見して る模様である を組織し犯人酸探中であるが 本様をつきとめるに至つたの

犯人の本據をつきこめる

などといふ考へは一層紛糾 

だが病気を背負はないやうにあなれの臭さんになつたんだからあなれの臭さんになつたんださいよ

ましても

『それア怒るでせうよ、この人なら大変犬さ思って、一家 り一切の秘密を打ち明けてしまった後にその相手が選ばれ さしたらね、でも、經難網幹 できまった。

でして行きますなんて大きいで、私にあの女 をがめらうごもきつご心から をがめらうごもきつご心から ですな、高山氏から念を押 されて、私はでんな事情や秘 のがある。 単代子は洋灘のコップを居 にあてながら、約点に笑った での急慢は最初それを希望し てるましたよ、そして富山氏 へ無心に載いたんですが、高 山氏もあんな人だから最初は あったんで、あの方もやっさなたも御承知でせう、そこへなたも御承知でせう、そこへなたものまれたから高山氏に謎が

二笠旅館二笠旅館 そこは郊外の小綺麗な料理 × × × よさ

こさをするか知れないさ思ひ、今更逃げるわけにもゆかず、 るわけにもゆかず、 まつたので、

自至 九九

よ日本爲の恩謝付に況盛大出賣日連 の品商全に特 卷三二〇五(3)話

b

(日

噬

(日滿兩國歌

産物を陳列、斯界の権威者を ・ 変成後定の大興公司二階全部 を借受け、豫算約十萬週を以 を借受け、豫算約十萬週を以 とゝなつた、同産衆館は廣く とゝなつた、同産衆館は廣く

### を記念として後世に遺す何物を記念として後世に遺す何物を記念として後世に遺すの大典を行されるものと見られるが、でいるがである。と見られるが、では関の上下を舉げて大々的には関の上下を舉げて大々的に対している大和民族の最 あす飛行協會 發會式を擧行

ガ代表) 夜は講演こ 映畵の會

に於て講演と映 書會を催すなほ夜は七時から記念公會堂 在,講演 **越横飛行士** 近横飛行士 近横地

英地 美地 大倉賞祝 一大倉賞祝

制九時からそ 爽快なグラ

外の生産物陳列

男から、歸つて吳れ、もきかず

特產物以

**場内にては係員の** おされる、當日一般

五祖 り品を入質

つてなびかせ敷回に亘つて目 (一六) =假名=を甘言をも (一六) =假名=を甘言をも

滿人婦人病棟 十月末開業

出た出た。 も漸く竣工し十月一日からた補鐵新京醫院補人婦人病 高代二四)氏が驛構内理髪部で で七月五日に興安胡同辭淵新 では満足を得 では満足を得

大島郡生れ西 に足を運んで 本務局長山口十助氏は二十六日午前八時五十分着列車で来京直ちに地方事務所々長應接室にて武田所長を始め首脳者室にて武田所長を始め首脳者と事務局各課事務分擔其他に 九月十日井上城二氏から五十 風、九月一日花園町望月己春 へ二〇)さんのハンドバック 妻子ある身で十六娘も 山口事務局長

如くに驚きる

罪を悔いてゐる

醫院

總會出席

多大の効果を收めた

花を

折られたフジ子

酸魔あたら

れてる 品割引

から二十圓

村山朝日會長

北大が三階だけは世人の住り十五日から中央通り目抜きの新京職入組合ではいよく二

氏始め融合側を函覧はせてる。 なへつかず出願者の出村英雄 さへつかず出願者の出村英雄 さへつかず出願者の出村英雄

的となつてゐるが白

を掘つてゐる新京署紙苗代署

を代表して謝 を新えた。 を表して謝

輸入組合ビルの旅館

**殖苗代署長の態度打診** 

利田長澤氏は二十五日午駅中の朝日新聞献収締役

マ 半額以下特價品澤 ルミ スモも 品 器」の 類 产札 同 同 四 割

別九時より午後五時まで開出九時より午後五時まで開出十五六才より二十二才 書持参下さ

用部品

帶

3)五七一五番 物験をもたれて 岐阜縣人會 明廿七日 司式說教 奉天聖公會長老 表数「魂のふるさと」 一、聖書學校 同九時十分 一、聖書學校 同九時十分 司式說数 永野武二郎 師時聽禮拜 午後七時半聖堂 永野武二郎 師 日本基督教會 日曜學校

本名朴國珍(三二)

交員として雇はれ

中六月中旬

を依頼された時價三百圓のシ電業公司員積田某氏から修理

競馬に使込んで行方を晦まし

込みである

類まれたミシン一合を説町奥の町五丁目裴善道から保管を

れ二十三日ハルビン領警署でたがその後横田氏から告訴さ

子供を置き去り

東七馬路七號土木請負業浦池 数 髪中 盗まる 新京 逮捕されたが除罪多数ある見 た上衣のボケット内から百二方で散髪中衣類掛にかけてゐ方で散髪中衣類掛にかけてゐ 側を何者かに盗まれた 教・神の幕屋」生地竹之助兄、タ 拜 七時半 日本ホーリネス 廿七日午前九 八時三十八

あ

(田七田)

を辿つて居る を融情勢は佐 を融情勢は佐 王府西南方に スト

スト機死亡者を 正府の西南百四 患者發生 もりの報告により 看を出したとの前 でに十二名のペ

中學校運動會新京中學校運動會は本日午中學校第四回運動會は本日午小郎八時より同校を返に於ての所に議動させ整数にこめて在後の一般を演ずれば父兄、概米は受力に要した。衛同校舎内の熱を演ずれば父兄、概米は一般を演ずれば父兄、概米に勢の下に当時に終った。

**重**々消防演習

1金城(二分三三秒二)2 一五圓一〇、被1入圓一〇 2一三圓六〇、ガラ1二二 90回一〇2五五圓〇〇、等 九〇〇〇米、

扇芳亭グル

手長理髪師捕はる

内理髪部の

和洋百貨店平 新京日本橋通り三十三番地 一五八

朝 鮮殖銀東拓が 再び近く利下げ實施

店るので更に三、四 利下げを断行したが 利下げを断行したが が を が で が で の 質 勢 無方の利下げを貸す事に決定 土井月一日より實施する事と なのた

在中特に利便を計るため、輸 高品を五分程度割引すること となつた

第十二の関大の ・ 大国四〇2二四間 ・ 大国四〇3二四間 ・ 大国四〇3二四間 ・ 大田四〇3四一 ・ 大田四〇3四一 ・ 大田四〇3四一 ・ 大田四〇3四一

で御本人御申 希望の方は新 新京本 H ビスカ

現在盛業中の H 日は午 本年の秋季大家族會は準備が後れた為の來春六月盛大に擧行致しますから御承知下さい。 大分縣人會各位に告ぐ TEL(2)2187

新京聖公會 八十七日〈三位一體後第十八十七日〈三位一體後第十八十七日〈三位一體後第十八日十四〉 曜學校 說教「神 傅道會

日本メ ソヂスト

三十分 三十分 三十分 教育牧師 二十七日午前

展皇起會五時二十分四公園誠忠碑 前新京日ノ出時刻五時中市 前新京日ノ出時刻五時中市 (東朝陽路二〇一・電二一

今晩の主なる演藝放送・

★六・三〇 四平街小學校 コトラス圏「ピアノ件奏外」 雑沼慶治外大ゼン

讓

喫茶と食堂

店

希望者は

原迄

分大同廣場建設局

午前十時

一个前十時

映講會、午後

飛行、午前九時よ 會式、午後

製しみ午後七時十分歸京する にた秋光の趣味に食器をのば す四十名の願員は明日午前七 時十分新京設選く秋を釣魚に 時十分新京設選く秋を釣魚に

ファ國英たつ戦に後最 てれさ減撃に軍民土 を民落部るれ迫機危。校將二の軍屯駐カリ

日

御揃

無に中撃技の軍民土と牙獣の林叢 1 つひ牧 ガンベ」闘死の愛類人たえ越を境國るせ揚 【奮昂と激感の上以「兵騎槍のル

督監チツビル・演主ドルナドクマ・トツネヤジ・エリバユシ・スリウモ ユシとさ美甘の類無の「ドーレバヴラ」のこ。きょとひなか爽の夜の秋 いたき頂てつ浸てつ以を笑微にと聲のドルナドクマと唇のエリバ

式ンタスェウ 0 作著士居山介里中 の原島 ٤ 生壬

代理店

一个五行

日銘大北 大 大 本 酒 洲 製 都 忽 禁 和 社 滿洲總代理店總 代 理 店 製品販賣特約店

りの降 ま用雨 す意防 お寒

青陽ビ 青陽ビ n 大 たり 庭

迅速配達 直

川田木 商家 店

願入多開 の致します。 せか御

小兒科 る家屋になる家屋になる 京八 專門 移まふ 轉しし致た遂 しがに ま今狭 L回溢 たハを 今島感弊 共 宜 治 皆 養 養 樣 四院 御のに

ester 京梅ヶ技町三ノニノ六と續傳票複寫器

!!!れ訪るた爽颯のーパーケーリーゲてつ來に腕麗のラブヤキケンラフ•ンキスリトーバロ•ムーチ名

演 主 ーサーアンージーーパークーリーゲ

を何て處其は年青な脱酒情純た出に會都て得を富の萬百 プヤキ・クンラフ・ンキスリ・トーバロかららあてた得 っ持を面のつ二暗明にここは作四第つ放がムーチ名のラ リーゲにるふ加!るす出表にメーリクスを鏡華萬の會都 11だ作一此は篇名の望待!!春場登るた爽颯の一パークー

作特社アビムロコ 色脚ンキスリ・トーバロ 督監ラプヤキクンラフ OPERA HAI

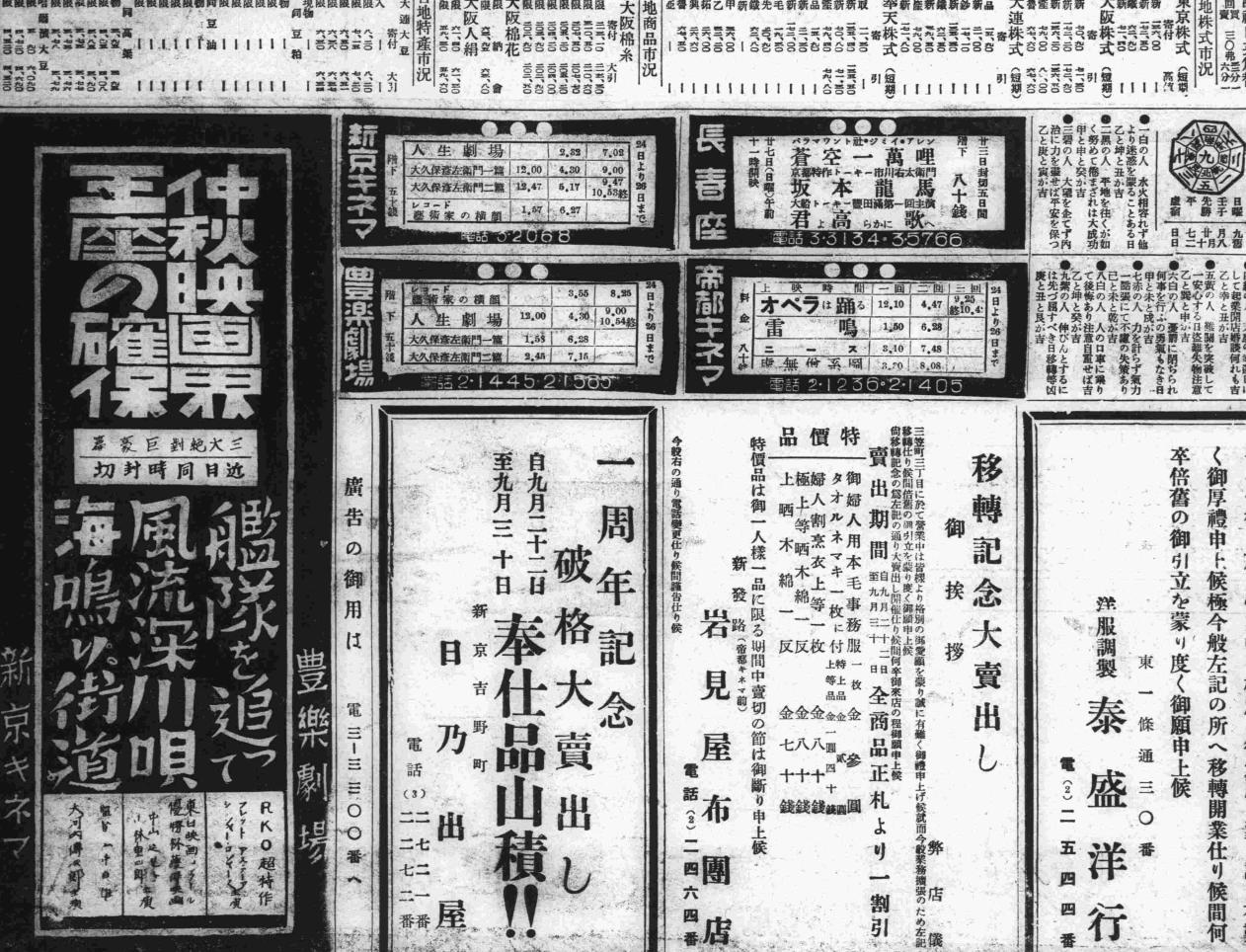
劇喜作特度年今社トンウマラバ 督 監 ドウラクマ・ンマーノ

演主エビーバージーヨジーンレア・イシイレグーズンーバージーヨジ 11 書映世見顔の人藝珍・人奇のカリメアく抜を肝度!るゐも間人なんこ

**意**熊科仁 督 監 三津味木々佐 作 原

助之柱山頭 鄭太東阪 演 主 子駒原・郎壽寬嵐





七八八圓

の節は

意布

四團

六

至九月三 十日 自九月二十二日 告 周 0 御 用 11 電 0 O til III – III RKO 番番屋

記 服調製 賣 出

ダイヤ街に於て營業中は格別の御愛顧を蒙り誠に有難 卒倍舊の御引立を蒙り度く御願申上候 く御厚禮申上候極今般左記の所へ移轉開業仕り候間何 移 0

株式市況

新京取引所市況

轉 御 挨 拶

(四)

滿洲國國際收支

一年度に於け

、貸付金及

我が爲替政策は

動搖を生ぜず

| 関協定に於て英米が他の二回を重視してゐる、大職省では 今回の側下げに伴ぶ英米佛二 の回では、大職省では ののでは、大職省では ののでは、 ののでは、

では には難更を加 未だ公報 フラン公報

京國通り廣田首相は廿八首相陪觀を延期

昨朝室蘭に御安着

を遙々北海の地に2000年で第四番 北海湾

ソ貨の平價切下につき次の如ス臓相は廿六日午前一時フラス臓相は廿六日午前一時フラ

は大暴落

内地為替市場は正金は對米建 九弗八分の一を改訂、市場は 大暴落を演じて對米は今來月

フランス蔵相發表

フラン貨の切下げ

# 最悪の事態

# 所の對策を凝議

# 御召服

### 井上洋服店 情勢の

新平和案發表

佛政府提

案の軍縮協定に賛同

投資等に伴ふ資金計畫に開して第四次新線計畫、關係會社は第四次新線計畫、關係會社

あるが、今回は特に政府未拂出帆の繋河丸で東上の豫定で放府と打合せのため二十七日投資等に伴ぶ資金計畫に関し

下打合せを行ふ豫定であるを打診して拂込促進に闘する

事務所の

危機を指摘

**州國の産業状況を視察するた** 

六 〇 二 〇 二 八

以降新京驛發着

々木理

廿七日熱河丸

は一般討議の先陣を承り は一般討議の先陣を承り は一般討議の先陣を承り

で 関雄し平和機構 で、ルサイユ平 で、ルサイユ平 で、ルサイユ平 で、ルサイユ平

但し眞の軍縮は道義的軍縮 世事會及び總會で修正を經 別に準據する事、且つ聯盟 別に準據する事、且つ聯盟 別に準據する事、且つ聯盟規 とする を伴ふ事を前提とする

忠實ならん事を期するもの、「大陸警であるが然も各國政府相響であるが然も各國政府相響であるが、之は甚だ危險である、「大陸警に分裂の光がある」、「國際情勢は相對立する」、「大陸警に分裂の光がある」、「大陸警に分裂の光がある」、「大陸警に分裂の光がある」、「大陸警に分裂の光がある」、「大陸警に分裂の光がある。

たフランス政府 に成し一般的軍縮 の再 格つで居る結果を指摘した 次でスペイン外相デルバョ氏

外、海、陸の三省會議開催

對支重要方針を確立

小學年(1七) 前中だけ り授業を開始する事となつた都合上當分午前中のみ來週よ 鎌川少將

警察より起訴され支那側第一 那人三名は廿五日午後工部局 那人三名は廿五日午後工部局

上海馬馬

附を以て豫備役に編入された。陸軍中將柳川平助、陸に東京國通』最に符命仰付ら

安東國通)二十五日午後一事務所富山技師以下技術員五事務所富山技師以下技術員五名、警備員日警八名、露營十五名の一行が牛毛 に向ふ途中午後三時五分、道嶺附近に於て紅軍二百に襲はれ露營三と接し前川警備班長以下は直

事往亦

電報取扱所新設

電報配達事務を取扱はない電報配達事務を取扱なことになったが電報を取扱なことになったが

度 電話③五八四四番

順天医院

八院宮完備 電話受付に三八九0番 疾室に三六七七番

六三 行

印

〇二七〇四六 〇二七八八八〇 〇二七八八八〇 〇〇〇五〇〇

文渉繼續に決定

開き長時間に亘り重要協議を遂げた、當日の會議内容は時半より對支問題に就き重ねて外、陸、海の三省會議をの重大性を思はしめで居るが、外務省では廿六日午後一の重大性を思はしめで居るが、外務省では廿六日午後一

【上海廿六日發國通】我陸戰

時局收拾の確信な

蔣氏、歸京を

憂慮すべき

行はる

上海事件容疑者

第一回審問

開来 和 (二一) 無化を見ざる限 (上海廿六日發定 が行はれる豫定 (上海廿六日發 重大化を考慮し 重大化を考慮し 重大化を考慮し

R り各種警備の で校は之以上事態 で校は之以上事態

**に概益の擁護を如何に措置すべきかと言ふ最思の事態を豫想し帝國政府の採るべき對策方針を確立せんとするもの交渉に當るか、又交渉が支那側の不誠意によつて重大なる破局に直面した場合、及びその際の在支邦人の生命財** 

期限附要求を提示し 思の成行を重観し一應その見透 る。 田中前十時上野驛設大演習陪 しが着くまで延期する事になる成行を重観し一應その見透 たりの脚途、豫定通り東北地武とせず、且我朝野の興論硬 よりの脚途、豫定通り東北地武とせず、且我朝野の興論硬 よりの脚途、豫定通り東北地武の成行を重観し一應その見透 る。 支那の態度を監視 成都事件被害者 田中氏大連へ

【大連國通】 滿鐵では廿六日 | 午前十時より松岡、

大村正副

満鐵重役會議で承認

滿炭增資案

日

市川経理兩部でに共子四百萬。

びに各線別發着數量左の如し 物設清數量及び九年度比較並

1年前六時二十五分へ、1年前六時二十五分へ、主より着京、同九時三十五分へ、主書前へを一十五分へ、中分率天へ一間午後十分率天へ一間午後十分率天へ一間一段。

取所式製係

午後三時四十

貨物發膚數量

中は増加製量(単位既〇)

四四六、三十一般经

二七九 三五六、四二三 三五六、四二三

同十一時ハルビンへ 時整天より着京ハルビンへ 同午後七時四十分ハルビンへ 同午後七時四十分ハルビンへ 同午後七時四十分ハルビンへ 自中後北時四十分ハルビンへ 自中後北時四十分ハルビンへ 日本四十五分奉天より着京 一時のルビンへ 一時のルビンへ

政を行ひ、年一千萬鷹の出炭 の次績、密山炭績の積極的開

東州施政三十周年記念式に臨課長山越道三氏は廿八日午後國課長山越道三氏は廿八日午後 二十八日東京發

解を朗讃し兼ねて

佛三國通貨安定協定に就き次 廿五日際更英米

科線X児 内 科病性 外

國通貨安定

げ阻止に 一番 切下

議會に諮る

一、二七〇、八八八 一、二三八、〇九三 京屬、京濱、京白各線新京 京圖線 一二七、五〇七 四一、四二四 一九二、六四二

狐、狸、ジャン、東地域の一条 女防寒オ 駅京日本橋通六三 ヘフランスホテル下ン します (M) M (O

七日華

を ・ ロカルノ會議招請に闘する英國政府の底意を暴露し、 ・ のカルノ會議招請に闘する を ・ ロカルノ會議招請に闘する ・ のカルノ自議招請に闘する ・ のも、

ス政府はフラン貨の危機を打出するに決定二十五日架更版相トリオル氏はサ八日報會に相トリオル氏はサ八日報會に対応通中の金フラン貨を政府の手で引上げる機限を要求

を本二十六日午前九時より本 のところ八月三十日を以て幾 多の優秀なる成果を收めて閉 が高したが之が修業證書授與式 を本二十六日午前九時より本

の 脚着の 独足した、 尚第 で の 独定で

行路病者處置の

對策を協議

太秦發聲に移管

大日活として日

た、これは最に た、これは最に た、これは最に た、これは最に

4

**捗しない。このため、イタリ代表締出しの工作は容易に進** 

一部五銭で一般にも賣出す事

五、稀有なる四肢畸形例に就一点、無性炎症の「レントゲン」の、急性炎症の「レントゲン」を療法に就て (溝綴響院) 鸛 來 政 雄 (溝綴響院) 東 辻 脩 三

金本位停止

(鍋谷醫院) 鍋谷傳二郎 カ(附) 標本供覧 場 田 正 治 六、蝸牛彀壊疽と治癒後の聴 円 正 治

回收化决定 流通金フラン

電々會社の 滿語講習修業式

曾が編輯に任の當る事になつして提供せしめ内閣情報委員

れ腺炎性類部蜂窩織炎に就 三、敗血病の轉歸を取れる扁 三、敗血病の轉歸を取れる扁

利商品の項目に付える 月に入つての日本郵船の積荷 は毎船補船の状況で九月中に は三萬五千乃至四萬噸に達す る見込である、而して支那側 商人は一部一流問屋筋が多少 時局を懸念し約定品の資渡し を急いでゐる氣配が見受けら

一度デオる事になった、 を引行するに決 を計算中旬其第

徹底せしめて國民の時局認識

物、砂糖、紙、工業薬品、染た為の非常時局に拘らず綿織た為の非常時局に拘らず綿織をなつ

民衆化徹底の為

官報週報を發行

たギリシャ盲脳部と懇談重をはアテネロ乗り込み、右傾しした。更にゲツベルス宣傳相した。更にゲツベルス宣傳相した。更にゲツベルス宣傳相の外相デ・カンヤ氏と密談

州得税を 賦課

#### 東京國通】大蔵省では現在 現職手當に對しては第三種所 現税を課して ゐない が、右 の中五千圓以上のものに對し ては假令一時の所得であつて も社會政策的見地から課稅す る事に決定した,然しその課 税方法は一般第三種所得とは に無關 日商取引

佛兩國間の相

日支人間の商取引駅況に開し 者杉上海總領事より二十五日 外務省に達した公電に據れば 最近の時局紛糾による影響に 最近の時局紛糾による影響に 長近の時局紛糾による影響に ところ、昭和十一年は支那内 ところ、昭和十一年は支那内 人 財を提供し老齢七十五歳の嚴 の 男群郷誠之助、串田萬藏、諸 の 男群郷誠之助、串田萬藏、諸 の 男群郷誠之助、・田萬藏、諸 の 男群郷誠之助、・田萬藏、諸

四 理により改正される超過累進 我を見る筈である 一葉間の選職手當に對して 他の第三種中得の高に關係 し大體七百五十引。 一葉間の選職手當に對して 他の第三種中得の高に關係 他の第三種中得の高に關係 た大體七百五十引。 本

地家屋を提供 記念スタ

【東京國通】公舗の榮爵も敷 百萬圓の私財も十五銀行問題 から一切を投出し身は熱海の いぶせき別莊に隱退して老後 つて故先代松方正義公の恩顧 を養つてゐる松方巖翁をめぐ つて故先代松方正義公の恩顧



タのなめ

重光大使の

北支並に滿洲國親察の途にある新駐リ大使軍光葵及在ニューリ總領事澤田康三兩氏 である

產金買上

上價格

五日 

中銀貨幣發行額

二十日間

(丸ルラウ

百〇二圓

宮、高千穗峰、栃木溫泉、宇佐八幡、羅漢寺耶馬溪、別府溫泉

熊本、鹿兒島、霧島神宮、霧島溫泉、鴉戸神宮、青島、宮崎神

溫

巡り

專

員

募

十月中旬第一回發行

三十日午後二時より整軍衛戍 京醫県會例會を催すこと」な 京醫県會例會を催すこと」な った、尚當日の調資者及び演 類は左記の通りである(既報 二十五日開催は都合により整軍衛戍 

で記述けの一指針を得やうと言いま断に立つて今回の週報發 が基断に立つて今回の週報發 が基際に立つて今回の週報發

(編貨階院)の(編貨階)の い贖い細血管の透明標本 古一四喜一 調骨々折の 央警察學校卒業の質的向上を圖

貿學の警官 朝出發 成績の優秀な

では滿人警察官

至康德三年九月十九日

▲九月廿九日 № 十月六日 新愛屯、南新京、菊水町派出所等內(新發屯派出所) ◆九月卅日 № 十月七日 北門 外派出所等內(銅響講堂) ◆「寬城子派出所) ◆十月一日 第城子 (寬城子派出所)

秋季臨時種痘を施行するこ り秋季臨時種痘を施行するこ とゝなつた(括弧内施行場所) 数知名氏の参列があり、折柄 の都建設局長鄭禹氏はじめ多 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 がい。 はない。 はな。 はない。 **硬式に吉楽と言はれる細雨** 

置上價格を一瓦 | 五角 | 五角 五角と決定した 宴を張つて同四時滯りなく終献、祝詞奏上、各關係者の玉

人向賃住宅の中七様十二戸は工新京特別市至善路(財政部 

十月一日以後は十月一日以後はに從來鈔票及び三十日限り鈔票及び三十日限り診票を

上棟式執行

・酸止す ・酸止す

**引所では左の如く鈔票建廠止** 参票**廃止に伴ひ廿五日新**京取

新京取引所公示



常務理事推選條文に闘す

スペイ

ン行小包

扱中止

中西講

謹啓

するところあり

了した

明師より挨拶をかり、修業

本を媒介し西班牙、同國殖民 地及モロツコ西班牙地帶宛て の小包郵便物は當分の間これ

とを得ない旨を

住宅

手形交換高 (I+KH) 商况欄 九月二天日後場) 海外經濟電報 大 11元枚 MMM、ModEilil 版 11元枚 MMM、ModEilil 新京取引市況 京 京 森

正確に……

とは現代の一つ

期價

玉

四〇四六 (3)

十月

京

電氣時計の機に

とるです の流行語になっ

供提價特の計時氣電 凉 ●内地にて自由解散出來 ●歸り乘船券差上ます

着物多くも差支ありません 自動車多く利用徒歩は少なし 自動車多く利用徒歩は少なし

申込所 主催

新京大和通り (満一家) 旅 館 観話長2 七九七四番振替大和通り (南一家) 旅 館 が 知

組館組

大連市吉野町七一



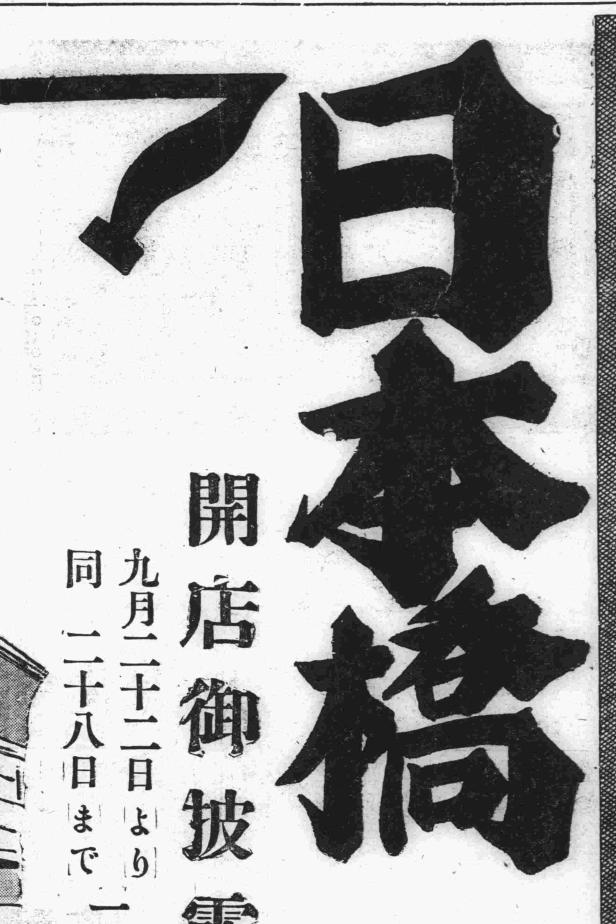
では強てから對策を疑惑 動・手数百名に及び、関都 より市公署資源室で民政部地 大京に於ける行政権を 数・手数百名に及び、関都 より市公署資源室で民政部地 大京に終ける行政権を ある現状より、関係當局 地方事務所、新京課長、首都 低いる 現状より、関係當局 地方事務所、新京課長、首都 による 現状より、関係官局 地方事務所、新京課長、首都 による 現代 はいました。

张禄の神宴會場 秋の覺味 ! 醇芳 割豪 節季の酒 連 支 御宴合は 申上ます 特に 御相公

と致しました。弊店の苦衷御推察の上何卒倍舊の御引立賜る樣御詫びも御用立致し度く一大英斷を以て內地本店より稅付品を取り寄せる事せめて皆樣より一入御愛用を頂いて居りますチューリップ製品だけで遭難、又々皆樣の御迷惑を續ける事となりるくまました。 を兼ね御願ひ致す次第で御座ゐます 遭難、又々皆樣の御迷惑を續ける事となり全く申譯も御座ゐません、し、近く賑々しく入荷豫定の處不幸にも積載船サニング號香港沖にて なる手持もつひ品薄、品切となり勝の爲め各種類に亘り一大注交を發謹啓 發賣以來日尚低淺きにも不拘皆樣の絕大なる御援助に依り十分 学 野 貿 易 株 式 會 社 英國アトキンソン化粧品日滿總代理店

**發賣以來日尚ほ浅きにも不拘皆様の絕大な** 

(三)



週間

御買上の有無に拘らず

散布ビラ切拔券―本 紙 切 拔 券―

御持參者に限り

加盟

者連名

陶器硝子器

煙草食料品

接待券を登上げます。奥茶市、丸の モレナク呈上

挨拶

邁進する様を是非一度御高覧 後の勝利を得る事を確信して 良い品を安く賣る店必らず最

海料

產道

物具

毛糸とポタン

弘

キャラメル 十本入 匕 十個人

小間物化粧品 寺澤商店

毛皮と洋服 和洋 菓子 流行御履物 喫茶と食事 電器具ラデオ ちり紙文具 趣味の菓子 司 ヒーテレス商會 關原洋 シベリア商會 天 森井商店 みつや製菓 十善出張所 電(の)五四六三番 行 屋

る名稱のもこに新京に於ては

始めての百貨廉賣市場を開店

致しました

從來の寄合世帶の百貨店デバ

名を掲げて品質も値段も品種

ートで違う所は店頭に各自店

さ云ふ組織になってゐる事で

店舗の名譽にかけて努力する

マーケット代表電話(3)六三九三番

も總ゆる方面に勉强し個々の

交叉點に日本橋マーケツトな

寄り日本橋通りで三笠町での

此の度私共同志二十店舗が相

同二十八日まで日本橋マーケス& 又は キャラメル 引

開店御披露 スピア

手管 一般見次第眼鏡手です。中には眼鏡をかけることです。中には眼鏡をかけること

たは濱邊などに出で、廣い海 設書の後に庭を眺めたり、ま 設書の後に庭を眺めたり、ま

しい美しい眼を

のつもりで注意しないとまるても齎つけかたにしても、そ

て 神丈は他の着物よりも三分かる 五分位の長めに致します。何 故なら、セルはたひ絹物と同る るために短くみえるからである るために短くみえるからであるやりにみえるからであるやりにみえるのは、如何に

で優しみを失つた姿になるこ

先づお仕立の時には、

ません。

おける勝利者であることに、なつてしまつたやくです。が大生にい眼の所有者が、人生に

222

セルの仕立方ご

しなければなりません。尙ほの合つためがねを選ぶやうに

検査を らけその上で 度。ですから 眼鏡を用る

( ○ ) ○ つては詩人が瞳は カー これは古い諺でしかありませ これは古い諺でしかありませ ん。眼が心の窓であるのは、子供の場合が、非常に單純な 人の場合であつて、いはゆる しんしょ そんなにたやすく

くなって

てゐま

本を讀んだり

言ふ人もありますが

鏡眼を用ひ



### 童の 近 眼

治療

薄暗い室や車の中では讀書を止めよ ロー豫防ご手當法

1、二年生でありながら既に眼鏡を用ひてゐるのに早くからなりつゝある傾向があります。小學校供が近眼になるのは大體十歳前後ですが近來は非 際を 見 渡 すなどは、気分を 高快にするだけでなく、眼の つかれをなほし、併せて近眼 ら、なるべく暗い室や、電車 ら、なるべく暗い室や、電車

す。それに近眼は、全體として年ありながら既に眼鏡を用ひてゐる

勉學中の子供をもつ

近眼にならぬや

明◇ )眸◇記

秋の瞳はせめて清淨に…… ち、または灸をする.

眉毛とまつ毛は朝夕、小さ 就寝前には、純良な植物性の 油をつけるとよろしい、まつ もでのために特別な油もあり

の番組

十七日(日曜日) (新京 汝送局)

つ毛が含まれてゐますが、何眼の美容には付屬的に眉毛ま

も眼を疲れさせない事が

力が必要です。

222 2222

三味線

杵屋 蝶

一、汽車ごつこ 一、汽車ごつこ 一、汽車ごつこ 一、関の兄さん 住 司 誠 飲 作 調 が山長谷雄 作 調 が山長谷雄 作 調 一、張陽大師常濟大師御忌 一、張陽大師常濟大師御忌 一、張陽大師常濟大師御忌 一、張陽大師常濟大師御忌 一、張陽大師常濟大師御忌 一、張陽大師常濟大師御忌 一、張陽大師常濟大師御忌 一、張陽大師常濟大師御忌

コ、法話

「財産」を表示して、一〇一部 演演 (東京)
を通事故の心理學的考察
文學博士 淡路圓治郎
一〇、一〇子供の時間(奉天)
奉天市立大北闘
南級小學校生徒 ç (東松茂 寧武 京) 樵林花關

藝者物語

お王杓子の微被體操し

大和通元新京館

ハハ

の名があり、清元 一根はれ、小唄で

小梅、小花の

× × × ×

で、「美代吉」の「さのさ節」大で、「美代吉」の

新京神社南橫

大和運輸公司 門越及建築土木材料一般 開送及建築土木材料一般 開送及建築土木材料一般



帳簿專門 三省堂製本所

等三 放教 授 生田流當道會 鍼灸術教授 傳授男女多数

電話專門公益社 電三一六五〇九 九州堂寮院 京一條橋詰 あんま

電話⑤六七二七番 中央通(大阪商船横)

鬼女十二名 腕利キ揃 7

入買券債業勸と債公 金 二九七五 速時立替 通裏社神地番六り通島入京新



東三馬絡無線電影下東三馬絡無線電影下 たは最適品 から エート 上菊湖月松撫 胡瀬東 田 カル 東京 記 京宗 記 梅米

ぶたまん専門 帝キネ裏 **₹** 成 一八五五 P

> t292面登支 番22万万国



校学工工 1 英〇

最新3三人〇二

四半











ルテホ都京 三三五一(2)電



でございますから申上げませなりません。これはごく簡単なりません。これはごく簡単なりません。 ことであります。 【材料】 五人前

サラダ 簡單な三色

り、トマトを切り、胡瓜も刻玉葱の薄切を鹽もみしてしば

儒祥も半袖でそして袖口が長

マオソプラノ ピンパイロヴァ

事務室向數室あり

のぞいたのはお

だします、セー

サラダ油四洋酢又は赤酢

二二大

高い丘などに立つて、それを十日から二十日ぐらる續けて、眼鏡をかけないでも遠方がはつきり見えるやらになるのです。そのほかに踝のマッ す。毎日一回ぐらゐ、濱邊やです。それを左右交互にしまです。 日一回ぐらゐ、濱邊やそれを左右交互にしま で押へ、一方を掌 外出後にもつとめて、 て約十分間ぐらゐもおさへてを溫めまして消毒綿に含ませ トセントの鹽を含んだ蒸溜水大切です疲れた場合には一パ に大切なことと思 します事は美しい眼を保つ 朝晚、洗眼士 洗眼を も上前も上前とスレイ(位るに合はせてお召しになっこと 時、普通のキモノと同じつも 物の前を合せて腰紐をしめる に注意して頂きたいのは、着

不の快機 武市中 平太 で 大阪十二年)世界三大 で 大阪十二年)世界三大 で 大阪十二年)世界三大 で 大阪十二年)世界三大

Ţ

、○○ニュース(東京、新 、五〇經濟市況 (東京) ・ 三、婚禮「幻想曲」

窦

東京無線

自

(大人) トのホウ酸水など (大人) トのホウ酸水など (の (の が結構です。眉毛とまつ毛の手入れは、眼を一層引立たせる上にぜひ大切なことで形のいい整つた眉毛のたしたで形のいいをつけると

ふ

太湖船二、瀬戸內海 **拖籃歌二、母親三、** 是

指揮何傑三 葛道章

三味線 野澤チョン太(長唄) 年 外外

貸家 住吉町二丁目(新

大量六量二十五圓六量二間二十五圓 大大

血液循環療法

中央通一五裕秦號內 ほね

大和通り六五(金光教節向)

一陽堂療院 電話3五八二九番 I 電話(3)三九二二番室町四丁目(三井物産前)

あんま (3) 五六人四番 板 社 H ٤

東京第二丁目九信祭舎 文章立案、

金融・

タイプライタ即

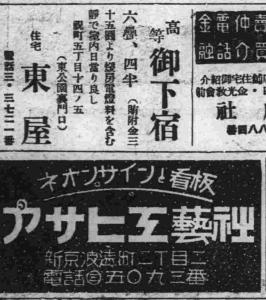
タイピスト 集成 明确 月通り八十一番地線領事館前 場領事館前

東門不二 大 氣 堂東門不二 大 氣 堂

新京三笠町一丁目電荷入町の一丁目電子 男女を問はず 電23四五二八八八八八元 東三條通五四

本會へ

中央郵便局前 ピル

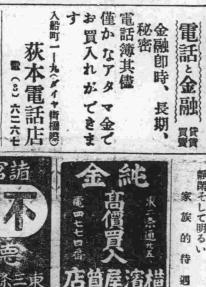




能型永中期戶月白特壽編 ※個央治·自柱木 司壽 《足》製製製會 調辨所 00000











1

「お玉杓子の機械體操

- 藤井氏の門を叩いて弟子入り 藤井氏の門を叩いて弟子入り たけに小唄 だけに小唄 だけに小唄

場目されてゐるヘカ代三程の人氣はない 者中での

v島の蝙蝠の方が好い がの一流所へ出るより がの一流所へ出るより そこらの婆妓之

九、〇〇鮮滿定例、交換放送 九、二〇舊劇 過關探母 協和國劇社票友 協和國劇社票友 

昭 看護婦

看護婦 家政婦 所添 様 集

會

4 7

話問金融

帖名其儘多額貸 ○雙貫は老舗

金

和洋行 速迅切一扱取

融 認公

神谷裁縫専修院 世立晝間部御教養之

教師一神谷幸惠

裁縫教授 高橋治療事門 ・高橋治療所 新京中央通九番地 新京中央通九番地

前會教光金・四五通路一東京等

社 成 萬

土地家屋

貸

あ (1)

電路。四九三七へ 一、特別・富士町二 一、特別・五十圓・六十圓 一、特別・五十圓・六十圓 一、特別・五十圓・六十圓

高 級**御下宿** 

希望者來談の事

場所等東京吉思

新座敷と庭園

藝

-

丘を越えて

11

西山兽策。

作

司の柏を引き据え、軍棍を振らな四人の襲兵が現れて、都と叫んだ。すると寝が虎のやのめせ!」 都司の身體に落ちて來た。 二百まで打つたが、胡統領 はまだ止めろと言はない。柏 はまだ止めろと言はない。柏

一緒に行くこととなった。一緒に行くこととなった。一緒に行くこととなった。前流が発った、その時はすでに四更を過ぎてみた。前流が行にそれをやってから、朝の菓子を持つて來るやうに言いがある。 前進を督率しやうといふので は後方に在つて隊伍を押へ、/ こととし その他は周も文もある。全隨員は、二人の老夫 夫で

「統領に向つて聞くのが都合 が悪ければ、随員たちがもう が悪ければ、随員たちがもう

「統領がどんな考へで居られ るかを教へていただきたいの です、この地方には實際に一 「わざくないで下さつて、 話があるのでせらか

はどうしても文に訊かなくてはなるまいと尋ねた。 事だつた。ところが、参解は 位方無く彼は趣き上つて根子 を積に引つ張つて限らうと思つての を積に引っ張って行って組か く、どんな異にやつたのを を対る外無かつた。を を対る外無かつた。 を対る外無かつた。 を対る外無かった。 を対して行って組か く、どんな異にやったら続領 を認らせずに満むかと尋ねる を移らせずに満むかと尋ねる

學、地質學、氣豪學、土地經理學、人種學、言語學、鑄物かくて地理學殊に政治經濟地 場現形記

「引つ張り出せ、しかと打ち 胡統領は一方怒鳴りながら 大部隊の人馬はすでに配置 大部隊の人馬はすでに配置 という 全部揃った。 そこへ

無対いた。船に行つて統領の 指示を請はうかと思つたが、 光刻和都司があんな眼に合は されたのを見ては、又統領の 類を損ずるだらうと思ひ困り 切る。ぞれで出掛けるわけに も行かない。幸ひこの老將は

「早く呼んで來い」 を再下に命令した を再下に命令した を再下に命令した。 席に掛

第二の優異なる國民です

その中から生れ出るは

それは健康と平和、

家庭愛と中將湯。

ぜひ教へて貰ひたいと頼む。

中將湯ある家庭からは明

かな笑ひが生れます、

旨を言つた。文は名刺を見た

つてゐた。配下の老將がそこへやつて來て言つた。 「統領は大人に前敵を打てと言つて居られますが、今土匪は一個の影すらも見えません一體符づた所で何をやるんです?」

連鎖」があること(五頁)ととの間に於ける政治的法律的 島福 路村 秋風に祭行事のはじまれり 教べ子に稱人多し秋廟祭 腎風に祭提灯灯をなさず ◇に祭を報じけり れて暗しちょろ虫

間であるから、その研究方法は まとして歴史的事實の上に 主として歴史的事實の上に

太皷だけなつてゐるなり秋祭

も各國の採つた政策が述べら 家の植民政策」の章に於いて 諸國の實際を述べ「國 が、「國 來つたものの如くである。稿ははやくもこの要求に備へ 來つたものの如くである。

學には新しい「使命」が要求日の情勢下に在つて、この科

・ドイツのパウルロイトワイン 氏の筆になるものを露出した 日地と植民政策』を瞥見した イン稿譯本

に位する科學であるといふのと先づ說き出す、それは國民と先づ說き出す、それは國民と先づ說き出す、それは國民と先づ說き出す。 S M 生 た 夢等々が補助學として必要と される。 植民地の概念を論者は三個 土地であること、植民國民が民國民の一部が外に移住した 優越且つ高度の文明を有する

でない。 でない野りでなく、全くのでない野りでなく、全くのでない野働性を を養せしめられたものを観りを供するものでない。 変を供するものではなりまするの
が様がではなり、一般では一般では一般では一般では一般では一般では、 のと歌きがではなく、一会では、一句で成るものではなる。 である。か様が、原住者搾取にはなり、一般では、 のと歌きがではなり、 である。か様が、 のと歌きな仕植民地は のと歌きな仕植民地は のと歌きなしたものも である。か様がない。 である。 ではなり、 である。 ではなり、 である。 のも である。 ではなり、 である。 のも である。 ではなり、 である。 のも である。 のも である。 のも のも のも のも のも

若し勞働者自身が植民地生 を結め生産に関東すること を結め生産に関東すること を持てるが一大変であら な等機機會を與へるであら な等機機會を與へるであら であり、質問的取扱の外母 関に於ける勞働の利益を促 選する有民政策との目的で ある(二二頁)

い、既に多くの變革を見た今れ二三年に刊行のものらしるれる、原書はこれる、原書は 

現代女性のスポーツに

甲

朝よりを曇りて寒き獺祭忌糸瓜忌の夕闇迫る般若寺安 村 孝 女 雨の廟贈篠として子規忌哉 日向奏の名残の花や獺祭忌支那寺の庭そよろ寒獺祭忌 ろ寒獺祭忌 高秋女

中將湯の愛用によって

見る、あの精力は

山門の甍光れり秋の雨池田 拜跪域燈帽く並ぶ子規忌哉 根本常 杏 一來 陽 ٨ 女 意識しべ

を見る

ことが出來る、

スポーツと中将湯

スマイルは眼科薬として最も合理的な農

イルを携へて!

き効が果\*

日僧の住める寺あり獺祭忌 法の躄の晝を冷やかに獺祭忌法の躄の晝を冷やかに獺祭忌 富田 江雪 は今の流行語です



特殊性とこゝに織り成されてゐる諸民族の協働を生き生きと寫し出した文學、その如きものを待望する呼び離は易い。例に滿洲文學創造のために努めて來た本社學藝部では、こゝに規定を新たにして短篇小說縣賞募集を行ふことゝする。清冽の意圖、眞摯の手法によつて讀者諸氏が新鮮なまた多彩な作品を寄せられんことを熱望する。

募

規

定

本 發表 十月下旬 三一 賞 (四百字語) 迄 十月十日

は本社に属し、原 本7年名 新京永樂 町四ノ一新京日日 町四ノ一新京日日 町四ノ一新京日日 新開社墨鸛部(封 説原稿』と朱書す ること) 局局人編輯

支那の茶をもてなされつ x 子 城 吉 崎 牙 城

支那僧の讀經を聞く子規忌か

句に括きて兹に十年正鮈忌 類祭忌句道いよ / と遠き哉 蓮 尾 仙人掌

新京に住ひて修す子規忌かな 新京に住ひて修す子規忌かな 子規忌今日事變を偲ぶ國都な 堂階や雨に戯れて菊の鉢 芸卒をもたらす雨と風と哉 去年率天今年新京の子規忌哉 東洋一の 園から生る 中將湯こそ真似 藥用植物 作用のない和漢 薬が第一です、 婦人疾患には副 の出來の婦人良藥 To

ただ眞實の数訓は経史進展の 環窓される。この學問も培博 な學問たることをやめてゐな い。 (了) 旅立を延ばし待たる子規忌哉 草の花雨風何ぞ冷早き 草の花雨風何ぞ冷早き 前別に相答る信や獺祭忌 前別に生くる法師や秋の暮 子規忌句莚 (於護國般岩寺) 人になれない、 真の健康から、 外装工作はか 真の美人は りでは真の美 その健康は





る護を眼らか線外紫の秋

めぬやう



陶租權整理法の

概要に就

することになつて居る。一れたものと君似されて消滅合には其の商組織は抛棄さ

權整理法施行の

第三、商租權整理法

の概要

(10)歳 決 (10)歳 決 (10)歳 決

の商租権人で

権人は商租

をその鑑踏襲する事とし、明をその鑑踏襲する事とし、明年度領算より總局經理局に於て總局獨自の綜合豫算の編成に當る筈であるが、總局經營の編成に當る筈であるが、總局經營の編成。 に當る筈であるが、總局經營

十字團閱團式を舉行、社長の大きに對し團員總代より熟試を答解あり、終つて必集者を名敬虔なる面持で君を代を合唱散會二時直ちに現場に於て社員總會に入つた、先の支部長米内山民政署長よりの大きなの解を述べ、總裁宮殿下

九年

至滿鐵道機構

日本は若し現

綜合經營の充實

名列席盛大に擧行され 臨時大祭

忠靈塔

時大祭は二十四日午前十時三十つたハルビン忠鸚塔の最初の臨

△⋯國線の特殊性を考慮し

經營合理化を徹底

# は斯く觀る

#### 日本、 滿洲及露國 v 3

道徳的立場より見て該戦争以 直域は以後我が國及び他國に 後り戦はれた諸戦争に比し、 度くこそあれ決して悪いもの ではなかつた、該戦争の結果 日本は一時的に大連港及近接 最等に依\* 遼東半島の南半を は領し始めて滿洲に根據を確 は領したのであるが、該戰争は 人に依りポート・

意東半島の獲得は戦勝國日本 にとり貴重なる收穫であつた が、戦後間もなく中立を装ふ が、戦後間もなく中立を装ふ 人に依りポート・アーサーと に至つた、同要港は支那語ではルシュンと呼び日本語では

であるが、一八九八年露國は であるが、一八九八年露國は であるが、一八九八年露國は 地を占據し無力の支那から二 でた。而して之が代償として うが該要求に對し詮方なく應 のであら

満洲に於ける露園の活躍は日 である事は他の世界の諸國は 管知しなかつた様であるが日 本は充分知悉して居る、支那 をして露國の勢力驅逐せしめ る事は夢現に等しいものであ る事は夢現に等しいものであ

紀も後のことである

る日本人はない

川副社長が來哈多列間出長が來哈多列

信日小

金

融

秘用掛口を密・汎・金

迅

速

八番地(滿鐵病院東側)

祉

限層の跡を親しく見て廻つたことであつた、該戦勝に加へて遼陽、率天に於る戦勝に加へて遼陽、率天に於る戦勝に加へたなる大張國にも拮抗し得べき して香港から威海衛へ轉動したばかりであつたが、岸に立って遙か對岸に位する旅順方面から日本海軍旅順攻撃の砲階が股々と響いて來るのを耳にした、戰爭直後余は初めてにした、戰爭直後余は初めて

割決定す

して香港から威海衛へ轉動し一九〇四年恰も余は司政官と の筈である 建設局員の 奉天移轉

建設局の奉 行はれる事に決定し 率天移轉は左の日割 のである。

電(3)四二六五

純長崎太 甘 新京名物

毎度有難度
う御座居ます

が百萬圓を投じた病院も敵よ 早をかつてゐるが、蟲に同社 ま 関に互つている。 

捜査網尻目に尚も 冷やかな犯行 大連脅迫狀犯人惡運盡く



樂出無

器張經

器無きを 無数を表明に を表現の が最初に ではおばします ではなばします。 ではない。 ではな、 ではな。 ではない。 ではな。 ではな。 ではな。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 では

新京市民音樂

會

御用命するい

出前迅速

され來つた

防的特殊性











徳川公迎

公の來稿を迎へて 人連支部の總會

へきのふ盛大に擧行 者三十六名に對し徳川社長大村滿鏡副總裁以下大連在 社ハルビン支部では來る十月

電披露の後支部長の發靡にて長、西片滿洲報社長の祝辭祝 の萬歳を三唱午後

哈支部總會 十月三日道裡 會を開催、 問題の國鐵財政公開 愈よ

一萬の社員参加し「て人道博愛の精神を高く揚げ

網の機充と共に変

推移は各方面よ

副長來哈

【奉天國通】滿鐵財政明朗化 の見地より滿洲國有鐵道の財 政公開の必要が從來度々强調 参謀副長は東部滿洲視察を終 【ハルビン國通】 関東軍今村 投宿した、廿七日瞬京の豫定へを受げ直に名古屋ホテルに り來哈、官民の出迎一後五時斋飛行機で

今後の推移は甚だ注目さる

部實行か

であつて詐欺、脅迫しむる商租権は正當な し土地権利の取得 正なり

情緒タップリ

此の手敷料

申告書の受理と緊急を要す 確に之を知るこ 

新築浴室完成 東一条通電陽山 新築浴室完成

四五五

三九三六



ダン 高尚 ス御習 適な 度趣の味 U の動 0 好季節 一十月第一五:00

キダンスア

初心者歡迎

此機會に正しい社交ダンスを一通り覺えておきませり 社交ダンスは日常生活の常識とまでなりました、クリ

天龍ながし

大島く

づし。

野の

彼

方

里ケ濱番

御 案

内

大学に対象の乳チ

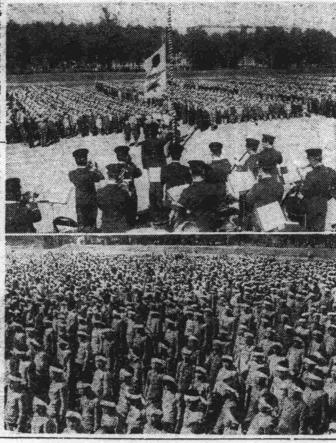
龍 旅館

は大陸交通の幹線として航空 た。太平洋の横断飛行の如き た。太平洋の横断飛行の如き

**滿洲飛行協會發會に關して** 

吾らの手で築け

## 鉢卷姿も勇 新京少年赤十字團の結團式 昨日盛大に擧行さる



予のマークで染めた白鉢卷のかし團員の見童は白地に赤+○九名は胸間に團章をかなめ

以上の學童を以つての下に新京初等小學校

組織赤十字團の結成

竹田宮殿下

宿泊料不拂ひ

二些の芥を散らすり

八十キログラムである、これた
結くべき数字を示した、平
に有して一日に約六萬六千二百

等席温る暇なき大多忙を極め 一等席温る暇なき大多忙を極め 一芸日着京以来軍部を始め猶洲 三日着京以来軍部を始め猶洲 三日着京以来軍部を始め猶洲

治郎氏談

署の署、

鐘紡、積極的に乘出す

蒙政部に提携して牧場を經營

的のものとして期待されてゐ

**店計時谷中** 聚於(3)電 通橋本日

出版記念會

宮様場で立教先攻で 一回殿は二十六日正 一回殿は二十六日正 に解しがる様な彼で い▼華かなりし彼 で知る友曰く「家

酒

界

2 存身、配置単五側二〇、等外ガラ1二四五側三〇、等外ガラ1二四五側三〇、等外ボラ1二四五側三〇、等外ボラ1二四五側三〇、等外ボラ1二八三側七〇、等外につき勝馬票は發賣せずンドラ1二八三側七〇、等外につき勝馬票は發賣せずン 

岐阜縣人會野遊會 場所 九月世七日午前十時 調天の際は記念公會堂二階 會費不要 右開催仕り候に付御操合せの 日本橋通り林洋行內 日本橋通り林洋行內



れ度し 本名十月六日午後二中 東京会第志看護婦人 で於て本社々長徳 本は、 でかれて本社々長徳 本は、 でいたで本社々長徳 本は、 でいたで本社々長徳 大田 でいたで本社々長徳 大田 でいたで本社々長徳 はいたで、 でいたで、 日本赤 十字社

して總會案内狀未滑の向は至急當部へ申出られ渡し

宗 社 新

婦人會家

新京

龙支

**佩用入場券提示の上所定の位婦人會々員總會を開催す依て長徳川公館臨場の下に當文部二時新京西公園(雨天なれば** 

位て部ば

之 権威 履歴書持参下さい年齢十五六才より二十二才まで年齢十五六才より二十二十二才まで 温書持参下された。 和洋百貨店 新京日本橋通り三十 十二番地電~二五八

きのふ軍人會館で開催さ 校將懇親會

第五回日滿陸海軍

の為人物であるは、これでは、大学平和確立の表別である。これであるは、は、大学平和確立の表別である。

金會の時に

西村洋行より左配の如く、中央通減泰洋行、ダイの賞品として日本橋通太の賞品として日本橋通太

りである りである りである

軍司令官

2

▲日本橋通太信號チューブ入 クラブ粉日粉二百四十個、ク ラブクリーム二百四十個、ク ラブクリーム二百四十個、ク

清酒二升

りスペイン向け郵便物送達不可能の状態となつたので、サ六日附を以て日本國媒介スペイン、同國植民地及びモロッコー帶姫小包郵便物を當分の可能の状態となったので、サボルので、サボルので、サボルので、サボルので、サボルので、サボルので、サボルので、サボルので、サボルのでは、サイン、同國権民地及びモロットを選出した。 中村部隊主力 小包郵送中止

中央通滅泰洋行
クロバー陳水白粉一打、鳥クリーム牛打、カガシコールドクリーム牛打、オガシコールドクリーム牛打、オイム牛打
当年権通資洋行
著籍 二十本、第百本、指
二十本、第百本、指

おオシヘイタ

四丁目

1

新京閣の辻本義雄氏に百五 | 走したもので吉林でもこの手 | で目下取嗣べ中である台で八千八百二十枚の煉瓦 | 圓で竇却しそのまゝ吉林に逃 | で相當詐欺を働いてゐ

日

いたすれば毎日十二 一人でニキョグラ 本年六月一日以降東邊道(無松、蒙江縣)僻遠の地に於て於金蘭正の爲該地に出動中の中歐主力(中村部隊長以下百余名)は四ヶ月に亘る長期の軍任を果し九月二十七日午前四時四十五分新京驛着列車にて(吉林経由)凱旋する 五頭)

季競馬

トラック質物の選択を迅速に致します中古トラック質物の選択を迅速に致しますを本町四丁目二二二十二十五年式

三翰

六

商店向としても亦最適

間場取所

第五日目成績

舞生學期秋

本語科 午前八時より十二時迄 英語科 午後六時より 十 時迄各科初等班學生も募集す 出場数契に應す 出場数契に應す

三九 (南战場北角)

教授、來哈 「ハルビン関通」歸任の途に ストーレオ・シロタ氏は廿六 日午後三時十分齎列車で來哈 直ちにモデルンホテルに入つ た、尚ほ同氏は同日午後十一

満洲にある資金を

ムの芥を散ら

のある

所以"

合を行ひ同五時盛會裡に閉會を催し紅白職に續いて機範試を催し紅白職に續いて機範試を催し紅白職に續いて機範試を開から晴天に惠まれて ▲第二 (1 五頭) (1 元頭) (2 元面) (2

**二莊** 一字社

員 に告ぐ 支店

三戶

場所将來の中心街豐樂路二一七號地間取下ウィンドウを含めて店の間約十坪が十十三叠湯殿水便完備二階六疊、八疊と二間中の押入炊事場物置二ヶ所附級房スチーム豐樂路二一五號地豐祭路二一五號地

感じのよい事務所とも成り 40

電(2)110七五番 西野場がのまへ格安に至急譲りたり場がのまへ格安に至急譲りたり場がのまっ格安に至急譲りたり

一御清覧 商品 を御満足 \* 以 3 T 世 誇 る E 得 \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* 光 3 分鄭 と店 存の 主製 す服

旣 製 で 智富な 一度 服 曲 豆 富

優秀の仕立

閉臓二時十分 閉臓なく途に引分けとなつ 賞品寄贈 0 た迄 嶄新の柄

淨月潭探勝會

で観な町一下自へ一般家を 「イヤ質は長く江戸に足を止め 「イヤ質は長く江戸に足を止め」

倉吉は一人男だ、彼是世話を協

2

0 原

因

沃素療法、酵質療法師用の「国 共に既然に悪び去るがは、實に その病体溢出物を、大小便と

証用職権を以外には求め得ら

く此がへお照らせ申さなくでは…

せん。

「サア人ない、降新造機を早

る形は、一度自分の治療機に関

り無きかを敗省したければなりさ

間りた。其方へ引移るので旅立ち

であるから父厄介を掛けることが

を いて関似事の三々九度、盃も海を かを姓べ家主から借りて来た評典を を姓べ家主から借りて来た評典を を姓べ家主から借りて来た評典を

能能的間の残骸を置す既院は駅 一に概能、英は船、双は船が真の に概能、英は船、双は船が真の でで駆動の観がで、これかからん で形撃・西峰、双は徹重となって で形撃・西峰、双は徹重となって

田外ろかも知れれ、其節は何らか

では、はおは歌はいことで、お称物は 中歌がはつなお送り申しませう」

寒殿に岸付け者があります、仕曲

この前後の異状、汚血、苦血、

この動脈硬化はゴム電が古く

ー動脈の硬化ー

ないではなく」はいるの数をのではなく」が、あってはなく」はいいの数なのはきでいるのではなく」はいいの数なのはきでいるではなく」はいいの数をがあるというではなく」はいいの数をがあってはなく」はいいの数なのはきでいる。

物は激すだけのことをしてから関

るが数本面のされた水流れる一番

なつた場かものであるが、記述

んだ

「別談等物もない、それには及「別談等物もない、それには及

れた親な気になった。

何なもお世話をおやま下さつて…

の眼域を続せばほんの意小の治療

然し取りした恐ろべき疾病もで

機の手道に起伏するのであります

から、総行器に少しでも不安のあ

る。これに続する沃索及び卵質

を刺一則能んで行く。性質の恐

(雄上號)

内桃

燕

延 太 郎

妖

魔:

京 涂介 B B 間 新

野鹿だ、其仕様のがを認がなくてをして居たつて仕だない。今夜は 秋は眺から水をアッ掛けられた標ってたものが出る調がない、其時は な気がしたものだものを

は種々な世話様になつて有難ら存 じます、又此方に居れば除計にも 御厄介比上とも宜しくお願ひしま

津はお松の前へ来て

重症用

t 「先列は家の様子を見てゐて祿 と叮嘱に挨拶をした、お松は急

粮素沃

東洋特産ノ

變質生藥ト

藥

價

二十回三十回三十回

力排毒カノ强カサへ内

王

者ナ

回回回

小兒用賽擇丸

三十

五十段

(可認物便郵種三第)

見られた。お食は、もら、賦色を 人物はお他のられた。お食は、もら、賦色を 人物はとく」 70

・しればはずら、ことによっては、では、大阪はおの様の手を取って個本でかったよ、ボーッと際の機なも、で、大阪町が出来で見ると位うのが一両に立つて居てね姿は身後、「サアノ をなったよ」 かって掘るかり電入つで居た難嫌 がつて掘るかり電入つで居た難嫌 がって掘るかり電入つで居た難嫌 がいって掘るかり電入つで居た難嫌 がいました、何らぞお席にお は、これにおしました。何らぞお席にお 一個になった何せ、それでは国民

上法療排

ノ法重 社會式標 帝崎 國 町居作・田碑・京京

大素化合物ト、古來吾上許サルベキ最大限 香七大四一京東區四

要うや 重症用毒棉丸適應症 服驅梅劑中

**人間の生活機能の中極をなして** 血液の異状 梅毒性神經痛、梅毒性リウマチ 梅毒性皮膚病、梅毒性內臟疾患、 先天梅毒、ひえ毒、小兒たい毒、初期梅毒、慢性梅毒、潜伏梅毒、 硬化、甲狀腺腫 ス、かんそう、悪性にきび、動脈 一知姑息的方法をおれませんでし

は無理の答案、食師の不合理。

調であれば、晋々は常に俄襲を保 その日その日の生活を支へて置る 野谷が清浄を保ち。その権威がWo るのは製に脱板であります。この 病類の元である。 であって、 た行動に がこれであつて、 た行動に がける 車ち、近条治療がに乗ら野乳と を解決したのであります。 たが、近代哲學の酸素は底にこれ なつてある。沃秀根社」・野蚕様は

.

であるものです。一概にしてщれ でするものです。一概にしてщれ 職に収録に続、禁管文、食業を助 松です。 歌春歌に紹が出來る動脈 大断臓器の研究は血を吐いて順度 るのなろしい職器的は作業の破 血の動的を計で開発して、 ・ となっている。は、ないでは、 ・ となっている。は、 ・ となっている。となっている。 ・ となっている。 ・ となっな。 ・ となっている。 ・ となっている。 ・ となっている。 ・ となってい 職は、大野常時世界の洋子を置 第一の作用 梅澤館が前接中に荒し残る僧 梅 用によつて、その危機を総続される人々が多い。 第三の作用

では一般では、 のは一般では、 のは一般では、 のは一般では、 のは一般では、 のは一般では、 のは一般であるが、 のは一般であるが、 のは、 のは、 のであるが、 のでなが、 のでなが 神經濟の原大は、骨膜腫瘍、

略は強れない。

く治療機能を運搬せしめる。 町血を簡外に排泄して、一部し 第四の作用

野社の散用に、社会等の高地し

間が脱がのこの野鬼に献する私 うに置くこの野梨に、多く世の うに置くこの野梨に献する私 ・先天梅毒ー

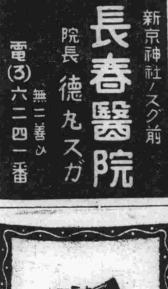
煉特五炊 四寸火鉢用 用 三三九四(3)曾

全國有名

際店ニアリ









内地では白金一匁三十二圓替を發表 プラチナ院及提時計の値段は

故お買物には大變お德な網好の機會ですものが自由にご選擇が出來てその上値段が從前のまでを取り、以前のは、を取ります。を取り、</ (七月末に比べて約二倍です)

泊宿 易 島 館 話 粒 六二五 (3)

谷地薬店販賣 傷 造 品 有 御注意於 金剛製薬奉天支店

血液淨化·細胞賦活 造皿アウトホ 終不振に 店商吉友澤藤 社會式株